

# お茶とお漬物でほっと一息 第33回飯田やまびこマーチ



第33回飯田やまびこマーチが超大型連休中の4月27、28、29日に行われた。27日の舟下りコースと40キロコースのチェックポイントとなつた松尾公民館では、緑ヶ丘中学校の生徒スタッフがスタンプを押し、松尾婦人会が麦茶や漬物、凍み豆腐の料理などのおもてなしで参加者をねぎらった。

午前中、舟下りコースの参加者が到着すると「お疲れ様です」「頑張ってください」と元気よく声をかけた。午後になると40キロコースの速い人たちがチェックして



緑中のスタッフ「お疲れさまで〜す」

いくようになったが、風が強く吹き始め、設置していたテントが飛ばされないように交代でテントの脚を押さえる場面も。最終の午後4時まで参加者を応援した。



## いつの日か選手として

5月23日、2019ツアール・オブ・ジャパン南信州ステージが行われた。朝9時15分に出発した、飯田駅から水神橋までのパレードの先導を、飯田風越高校の自転車競技同好会の3人が務めた。写真左から、榊山来実さん(城区3年)、柴田晃宏さん(伊賀良2年)、青島冬弥さん(明区3年)

青島さんは緑ヶ丘中学校1年の時に、総合学習でツアール・オブ・ジャパンを取り上げた。その時に、選手の格好良さ、スピードに憧れ、自分でも中学2年から競技を始めた。楽しさにのめり込み、本格的に競技をやりたいと、高校へ進学すると、迷わずに自転車競技同好会へ入り、毎日走り込んでいる。

当日、憧れの選手の先導をし、「はじめは緊張したが、間近に見られた嬉しさ、自分たちがその選手の先を走っている感動、今までの競技の中でも別格に感じた」と話した。

青島さんはいつの日か選



レースの見所、下久堅周回コース

手としてこのステージで走りたいと夢をもっている。

# ようこそ松尾へ

水城区 池田典史さん 美代子さん

今回は分譲地の一面に新しく家を建てて3月に引っ越された池田さんご夫婦にインタビューしました。精悍な顔立ちの典史さんと、とても聡明な印象の美代子さん、元気な2人の子供さんたちの4人家族です。



出身地はどちらですか？

典史さん・長野市です。

美代子さん・飯田市千栄です。

以前はどちらにお住まいでしたか？

上郷です。

なぜ松尾に住むようになったのですか？

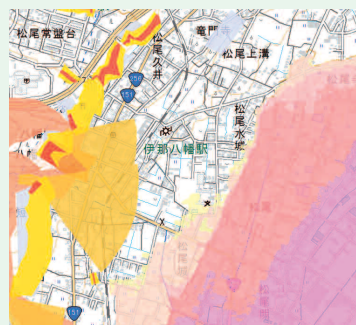
美代子さん…現在、実家が千栄から松尾上溝に移ったこともあり、実家に近いところがいいと考えていました。また、ここ水城は天竜川の洪水浸水想定区域外となっていて、安心して暮らせるということここを選びました。

松尾の印象はいかがですか？

典史さん…3月に引っ越したばかりなので、まだよく分かっていませんが、松尾は暖かいと感じました。気候もそうですが、地域の方々が温かい。早速、地区の総会で紹介していただき、このような取材もしていただいたことで早く地域に溶け込めると感じました。

天竜川の洪水浸水想定区域を調べたところ、確かに水城(一部を除く)は、洪水浸水想定区域外となっていました。おまけに土砂災害のおそれのある区域(国土交通省ハザードマップポータルサイトより)

左の地図の色付き箇所が、洪水浸水想定区域および土砂災害のおそれのある区域(国土交通省ハザードマップポータルサイトより)



## 自治振興センター 職員の異動

今年度の市役所人事異動により、新しく1人が着任しました。

〈転入〉  
○公民館主事 三船功基  
橋北・上久堅として松尾と、公民館主事としては3地区目となりました。よろしくお願ひいたします。

〈転出〉  
○公民館主事 代田祐樹(上久堅公民館)



## 松風

平成最後のやまびこマーチに参加した。筆者が参加したのは40キロコース。初挑戦である▼7

時に飯田の中央公園をスタート、大宮神社から砂払方面に。周りの人は千葉、茨城、東京、愛知、福井、札幌！飯田が、地元の人がいらない！全国各地から毎年参加しているという人たちがばかりの中で「40キロって何時間かかるんだろ」と聞くと、午後の3時くらいには終わるとの答え。既に足が痛い▼大休から妙琴公園、山を登り佐倉様、見晴らしのいい山道を歩きながら山本へ。箱川から三穂の旧小笠原書院、ここまで来てコースの約半分。普段から歩く習慣をつけていたつもりでも、筆者の足はもう限界▼天竜峡シヤルルヴィル・メジエール通り、見頃を迎えたピンクや黄色の八重桜を見ていると足の痛みも和らいだ▼時又、駄科から松尾に入り毛賀沢、天竜川の堤防は強風にあおられ、松尾公民館で最後のチェックポイント。足の痛みも我慢の限界、わが家に寄って靴を履き替えたら楽になってペースアップ。あとはゴールの中央公園に戻るだけ▼結局ゴールしたのは午後4時。来年は靴の選定を間違えないようにしよう。

松尾の人口
男子 6,216人
女子 6,838人
計 13,054人
世帯数 5,159世帯
5月末現在

# まちづくり委員会総会開催

令和元年度松尾地区まちづくり委員会総会が、5月13日松尾公民館ホールで開催された。総務部、地域振興部、公民館育成部などから、平成30年度事業報告と決済報告があり、引き続き令和元年度事業計画が読み上げられ、すべての議案が原案通り承認された。

宮澤直人まちづくり委員会会長は、「元号も令和になり、松尾地区のまちづくり重点目標にあるとおり、みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり等々力を入れるとともに、重点事項である国道151号の渋滞解消対策、産業道路等の道路改良などに力を入れていきたい。また基本構想策定に関する検討の推進などに力を入れていきたいと思っています」と話した。

## 宮澤直人会長あいさつ



本年度2年目になります。宮澤でございます。昨年一年大変お世話になりました。感謝申し上げます。令和元年の幕開け松尾まちづくり委員会第1回総会を5月13日役

員代議員の皆さんの出席をいただき開催することができました。平成30年度各事業報告、会計決算、監査報告を提案し承認いただき、引き続き令和元年度事業計画を提案し承認されました。本年度、八幡町交差点改良工事は事業化し、水城交

## 松尾地区まちづくり委員会重点目標

松尾地区にとっても、リニア時代を見据えて行動する重要な時期であり、個性的で存在感があり、安心して住み続けられる地域づくりを着実に進める必要がある。これらの思いを込めて次の重点目標を掲げる。

- ◎みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり
  - ・多様な主体が連携協力した事業の実施
  - ・地域活動への参加意識の高揚
  - ・元氣の出る取り組みの推進
- ◎安心して暮らせる安全なまちづくり
  - ・内水排除対策や防災体制の強化
  - ・土地利用計画及び道路整備計画の検討
  - ・安心安全な地域づくりの推進
- ◎子供から高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり
  - ・「松尾の子どもは松尾で育てる」教育支援の推進
  - ・あいさつ・みまもり運動の推進
  - ・「生涯現役」健康福祉事業の推進

少子化・高齢化が急激に進行し、日本全体が人口減少時代に突入する中であり、松尾地区は先人の努力により、飯田市内でも有数の暮らしやすい地区として発展し、活気ある地区となっている。

## 令和元年度 重点事項・活動計画

① 国道151号と国道256号の交差点改良事業の早期事業化

② 産業道路（市道1-53号線）を活用した広域道路網の検討

③ グリーンベルトの保全

④ 内水排除対策・防災対策の推進

⑤ 松尾地区基本構想策定に関する検討の推進

⑥ 総会年2回開催

⑦ 企画会議毎月7日開催

⑧ 推進会議毎月20日開催

⑨ 本会議事業 飯田建設事務所等との懇談の実施、学校ボランティア事業、やらまいか松尾まちづくり活動助成事業、松尾地区基本構想の改訂

⑩ 松尾地区基本構想の改定に向けた検討

⑪ その他事業 研修事業、飯田市まちづくり委員会連絡会へ参加、近隣まちづくり委員会代表者会議への参加、その他各種団体事業への参加及び助成

## 総務部

- ① 鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業
- ② グリーンベルトの保全管理活動
- ③ 松尾地区財産区有林の管理
- ④ 区と連携したあいさつ・見守り運動の実施
- ⑤ 地域行事の企画・立案
- ⑥ その他、情報共有のため

## 平成31年度 役員名簿（推進会議）



役職名	備考	氏名	地区
会長		宮澤直人	代田
副会長		池沼良明	上溝
副会長（会計）	寺所区長	鋤柄富男	寺所
公民館長	公民館育成部長	下條啓市	代田
総務部長		鈴木幹夫	上溝
総務部副部長		塩澤秀子	八幡町
総務部副部長		清水富子	毛賀
地域振興部長	水城区長	大蔵正明	水城
生活安全部長		石原茂	明
交通安全部長		原三男	久井
環境衛生部長		平松敏一	久井
健康福祉部長		米山壽美人	代田
青少年健全育成会長		松澤秀明	代田
基本構想特別委員長		中山明	久井
地域振興部副部長	上溝区長	小木貴幸	上溝
地域振興部	久井区長	木下昇平	久井
地域振興部	新井区長	今村與志昭	新井
地域振興部	明区長	三浦可収	明
地域振興部	清水区長	竹村清海	清水
地域振興部	城区長	松村宗一	城
地域振興部	八幡町区長	黒田誠	八幡町
地域振興部	代田区長	奥村和寛	代田
地域振興部	毛賀区長	木下寛	毛賀
地域振興部副部長	常盤台区長	西田克美	常盤台
財産区管理委員長	総務部	永井亮敏	八幡町
相談役	市議会議員	村松まり子	八幡町
相談役	市議会議員	木下徳康	毛賀
特別推進員	消防団第5分団長	竹内佳史	清水
特別推進員	日赤奉仕団松尾分団長	下井真由美	城
特別推進員	松尾地区民生児童委員協議会長	佐々木尚	毛賀

の定期的な部会の開催、研修等の実施ほか



松尾小6年生区有林見学

## 地域振興部

- ① 道路・水路等の改良補修の促進
- ② 内水排除対策の推進
- ③ 空き家対策の推進
- ④ 組合未加入者の加入促進
- ⑤ 活力ある地域づくり

- ① 道路・水路等の改良補修の促進、松尾地区重点箇所について市・県等への要望、市担当部局との懇談会の開催、国道151
- ② 空き家対策推進、空き家の利活用に向けた対策の検討
- ③ 組合未加入者の加入促進、機会を捉えた加入推進活動の実施、自治活動組織加入促進コーディネーター事業等の活用
- ④ 活力ある地域づくり、各区の課題等情報交換を行い連携した地域づくり、あいさつ・見守り運動への参加、各部との連携の推進、産業団体（商工団体・産業団体）まちづくり協力団体との懇談、情報交換

## 生活安全部

- ① 防災活動 防災対策事業
- ② 防犯活動 防犯対策事業
- ③ 防火活動 防火対策事業
- ④ 防火防犯全般 松尾地区地域安全大会
- ⑤ その他 啓発活動、消防機関及び警察機関等への協力

## 交通安全部

- ① 交通安全の推進のための啓発や活動
- ② 交通安全の推進のための啓発や活動



ゾーン30の広報活動

⑥ その他 自主防災組織の強化と防災備品の共同購入の推進、各区組織、各区役員のあり方検討

号と256号交差点に起因する渋滞解消対策、産業道路（市1-53号線）を活用した広域道路網の検討、国道256号歩道改良及び安全対策の促進、県道新井伊那八幡（停線「みさこや交差点」）の改良促進

- ① 防災活動 防災対策事業
- ② 防犯活動 防犯対策事業
- ③ 防火活動 防火対策事業
- ④ 防火防犯全般 松尾地区地域安全大会
- ⑤ その他 啓発活動、消防機関及び警察機関等への協力

④ 交通安全全般 教育機関が開催する交通安全教室への協力、催事等への交通安全の協力、消防機関及び警察機関等への協力

### 平成30年度 まちづくり委員会会計決算(概要)

歳入の部

単位：円

項目	金額	説明
会費	19,457,300	1戸年間6,000円
パワーアップ地域交付金	10,364,000	飯田市交付金
その他補助金等	11,176,346	ほっ湯アップル配分金、財産区交付金ほか
前年度繰越金	3,036,077	
基本繰入金	1,227,772	まちづくり委員会基金ほか
雑収入	671,471	各種交通警備謝礼、自治会保険各区負担金ほか
収入合計	45,932,966	

歳出の部

単位：円

項目	金額	説明
本会費	17,129,783	役員報酬、駐車場借地料、元気の出る活動費ほか
総務部	1,466,897	小学校区有林見学、各種地域行事費ほか
地域振興部	5,065,390	文書配布業務交付金、産業振興ほか
生活安全部	1,894,265	松尾地区安全大会経費、防犯灯新設工事費ほか
交通安全部	1,312,399	交通安全啓発、道路反射鏡清掃作業費ほか
環境衛生部	3,212,623	ごみ集積所管理費、天竜川環境美化活動費ほか
健康福祉部	3,101,855	敬老福祉事業補助金、ふれあいサロン補助金ほか
公民館育成部	8,784,890	各種公民館事業費、育成会事業費ほか
支出合計	41,968,102	

歳入総額45,932,966円－歳出総額41,968,102円＝3,964,864円(次年度繰越金)

## 環境衛生部

- 【重点事項】
- ①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル
  - ②環境美化
  - ③河川浄化
  - ④公害防止

### 【活動計画】

①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル、ごみ集積所管理事業、リサイクルステーション管理事業、分別推進事業の実施、指導者研修の実施、啓発活動の実施



天竜川美化活動

- ②環境美化 ごみゼロ運動の日、全市一斉水辺等美化活動
- ③河川浄化 天竜川・毛賀沢川堤防美化、天竜川環境美化活動
- ④公害防止 井戸水(一般)

## 健康福祉部

### 【重点事項】

①松尾地区のまちづくり目標と福祉健康の基本理念にある、地域に住まう全ての住民が安心して健康やかな生活が出来る環境と優しいのある地域社会づくりを目指して、地域福祉及び地域住民の健康の増進を図る



通所B

### 【活動計画】

- ①社会福祉委員会 ふれあいサロンや敬老福祉事業、見守り活動、一人暮らし高齢者のふれあい昼食会や高齢者のための料理教室、在宅介護者元氣回復事業、介護予防への支援活動(通所B)として介護予防教室卒業者を対象としたフォローアップ事業、移送サービス事業、松尾地区の社会福祉に寄与するため、社会福祉団体等への協力支援、赤い羽根共同募金事業への協力、委員の研修会実施、保健推進員会、健康後援会実施、各地区健康講座実施、推進員の研修会実施
- ②地域における福祉健康活動を積極的に展開するため、研修会等の開催を通じて、資質の向上に取り組む
- ③社会福祉委員会

## 公民館育成部

- 【重点事項】
- ◆公民館◆
  - ①住民交流の場である分館活動のサポート
  - ②松尾の地域課題や生活課題を学ぶ「松尾セミナー」の充実
  - ③松尾地区の文化・スポーツ・広報活動のさらなる振興
  - ④まちづくり委員会の中で公民館が果たす役割としての学習と実践
  - ⑤各種団体との交流・連携・支援
  - ◆育成会◆
  - ◎心身ともにたくましく健康やかで、人情豊かな青少年の育成

### 【活動計画】

①育成会全体 松尾少年スポーツクラブ等の育成及び活動支援(松尾小学校全校朝礼時にクラブ等紹介)、PTA活動・地区活動への協力、「青少年健全育成事業」の実施

②行事部 育成会主催の文化的・体育的行事の実施、松尾地区文化祭

③教養部 あいさつ運動の推進、松ぼっくりの池の管理、本会会計

④広報部「育成会便り」の発行



令和元年度育成会事業 水中生物を捕まえよう

- ①子供たちを健全に育てるための活動の場の提供
- ②あいさつ運動の推進(小学生を中心に)
- ③関係機関団体との連携・協力

- ※公民館の活動計画は本紙4・5面に

## ボランティア50人 クラブ活動支える



松尾小学校クラブ活動打ち合わせ会が5月14日に開かれ、クラブ活動を支援するボランティアに対して学校側からの概要説明があった。宮澤直人松尾まちづくり委員会会長の挨拶に続いてボランティアと担当職員が自己紹介した後、各クラブに分かれ、具体的な進め方の打ち合わせをした。

今年度は4・5・6年生約360人が文科系、スポーツ系さまざまなジャンルの18のクラブに分かれ、5月23

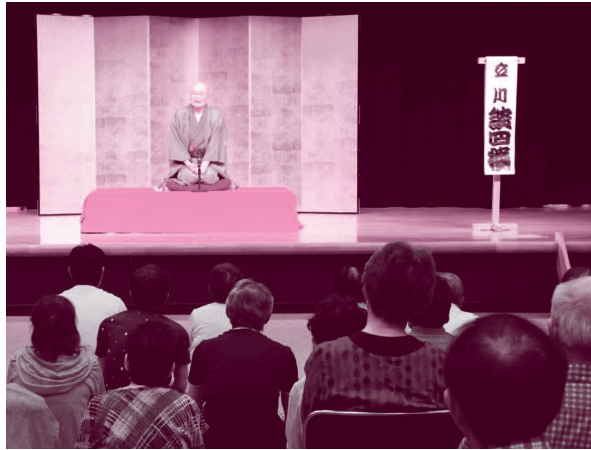
日のオリエンテーションの後、6月から10月まで5回、5・6校時にクラブ活動を行う。このうち13のクラブで50人のボランティアが講師として指導に当たる。

この事業は飯田市が進める「飯田コミュニティスクール」の取り組みの一環として位置づけられる。コミュニティスクールとは「学校運営協議会」を設けて、学校・保護者・地域住民が子供たちをどのように育てていくかを話し合い、一体となって地域に根ざした学校づくりを目指すこと。松尾小学校は平成29年度に協議会を設置したが、学校支援ボランティアによるクラブ活動の運営自体は今年で11年目になる。これだけ多くのボランティアが関わるのは市内でも珍しいという。

茶道クラブの支援に入って4年目の山下美由紀さんは「自分にとっても良い経験になるので、このような機会を与えていただけ嬉しい。多感な時期の子供たちに少しでもいい刺激を与えられるよう頑張ります」と抱負を語った。

# 令和元年 松尾公民館 各委員会の活動始まる

公民館は、憲法と教育基本法で定められた生涯の学びと教育を国民に保障する社会教育機関です。松尾公民館は長野県でも最初に設立された公民館の一つであり、飯田市の第1号公民館です。  
まちづくり委員会組織の中で、公民館は学習や交流を通じてのづくりや、地域資源を活かした実践活動を行うことで、公民館としての「役割」を果たしていきます。



## 新館長ぼやく 公民館長 下條 啓市



あれは、春も間近い3月の初めだったでしょう。「ちよつと話がある」彼のいつにない神妙な顔つきで、話の内容は見当がつかしました。自分も役職を依頼する苦労は、もう十分

に経験済みです。幾日も何回も訪ねるのは、お互いに苦痛です。経験も知識にも不安ばかりでしたが「しようがないか」とても高いハードルですが決心しました。  
公民館活動が、私の人生の後半を決めたといっても過言ではありません。11年間の広報委員活動で、文章を書くことに興味を抱き、その楽しさを知りました。

体育委員の経験では、ラジオ体操指導員の資格を得ることができ、自分が勤める会社に朝の体操を定着させました。もう随分昔の話です。大勢の人と知り合えたのも貴重な財産となりました。各地区の代表と顔を合わせ、時には酒を酌み交わし、旅行もしました。家族のような付き合いがとても楽しい思い出です。  
今や、年間利用者が7万人を超える松尾公民館。飯田市20地区の中では鼎公民館に次ぐ2番目で、群を抜

いています。つくづく大勢の皆さんにお世話になってるんだなあと感じます。公民館モットーは、「地域の学習、交流の場」。これをもっと高めるには、分館とのつながりが一番重要だと私は思っています。毎日毎夜、公民館役員の皆さんが頑張ってくれています。突然あまりにも大勢の方々の出会いで、未だお名前を覚えきれないような体たらく館長ですが、共に進んでまいります。

### 今年度の事業計画

- ◎公民館の組織のあり方の検討
- ◎公民館の役割についての学習会、情報交換会
- ◎役割についての学習会、情報交換会
- ◎松尾地区についての学習会

### 総務企画委員会



分館、そして公民館のつながりが深まる学びの機会を作っていきます

### スポーツ委員会



スポーツを通じて交流しましょう

### 今年度の事業計画

- ◎公民館役員（指導者）対象 ニューススポーツ講習会（5月12日）
- ◎分館交流ニューススポーツ大会（6月16日）
- ◎松尾地区市民運動会（10月13日）
- ◎健康ウォーキング教室（10月22日）
- ◎分館交流ふらばるバレエ大会（分館交流ブロック、ふれあいブロック）（1月26日）
- ◎緑中学校区スポーツ推進委員・スポーツ委員・体育委員交流会（スポーツ推進委員主催）
- ☆飯田市公民館事業
- ☆飯田市女性バレーボール大会（1月17日）
- ☆団体事業
- 松尾バレーボール前期大会（5月19日）
- 松尾バレーボール後期大会（10月27日）

### 今年度の事業計画

- ◎親子映画鑑賞会（7月6日）
- ◎いいた人形劇フェスタ2019（7月31日～8月5日）
- ◎松尾地区成人式（1月12日）
- ◎文化祭（2月1日～2日）
- ◎松尾踊ってみよう会

### 広報委員会



地域の情報をお待ちしています

### 今年度の事業計画

- ◎まつお新聞の発行 第247号（7・1発行）
- ◎まつお新聞の発行 第248号（10・1発行）
- ◎まつお新聞の発行 第249号（1・1発行）
- ◎まつお新聞の発行 第250号（3・31発行）

### 文化委員会



みんなで楽しい企画を考えています。お楽しみに

分館長会長

宮脇 忠良



この度、清水区の順番という事で、分館長会長を務めさせていただき、清水区の宮脇です。

昨年、少子高齢化が進み、新たな転入者の組合加入率も下がる中、地域のつながりの希薄さが問題になりつつあります。そんな中で身近なコミュニティの場としての公民館活動が、地域の連帯の要となつて、活動が展開されるようになれば良いのではないかと考えています。

飯田市の公民館活動の基本理念「四つの運営原則」地域中心の原則、並立配置の原則、住民参画の

原則、機関自立の原則、以上四つの運営原則に基づく公民館活動を積極的に展開しながら、住民同士のふれあいを大切にして、各分館にあった独自性を発揮した活動をみんなで取り組まれることを期待します。

今年、年号も変わり、松尾公民館長も新しく、下條館長に代わりました。各分館の今までの以上の活発な活動をお願いいたします。



令和元年 分館長

### ニュースポーツ講習会

5月12日、各区の分館役員が参加し、公民館ニュースポーツ講習会が開かれた。キンボール、ガラッキー、ラダーゲッターの3種目を、組分けされた各区がローテーションで体験。ルール解説から始まり、最後に各区分対抗で実戦を行い、得点方法や防御などの戦略を学んだ。講習とはい



「これは何点になるの？」

え、実戦は白熱。講師に詳しく質問するなど、全員が熱心に取り組んでいた。

**清水区**  
新設ホールに悪戦苦闘！  
伍組対抗マレットゴルフ大会  
5月26日分館主催のマレットゴルフ大会が、新松尾マレットゴルフ場で行わ



### 白熱の戦いと交流

に挑んでいた。団体戦は常勝の5番組、個人戦は名取津義生さんが優勝。またホールインワンを2人が決め、賞品を獲得した。

「好天に恵まれて、参加者70人が団体戦と個人戦で競技を楽しんだ。新設ホールが難しくギブアップが多く出るなどしたが皆果敢



**新井区**  
マレットゴルフで親睦  
6月2日天竜川河川敷にある、新松尾マレットゴルフ場で、令和初の新井区マレットゴルフ大会が、64人の参加で開催された。

4人が1組になり各ホールからスタートし、日頃の腕前を競い、熱戦を繰り広げ親睦を深めた。参加者は、凸凹したコースの難しさに首を傾げ悔しがったり、あわやホールインワンのプレーに驚きの声をあげたりしていた。

れ、参加者からは祝福の拍手が送られた。

新井区長の今村與志昭さんは「好天に恵まれ有意義な半日が過ごせたのではないかとと思う。好プレー、珍プレーの続出で和気あいあい楽しく交流することができ大変良かった」と話していた。



景品いただきました

**ふれあいひろば**  
\*分館交流ニュースポーツ大会  
6月16日 あいにくの雨により、ペタンクが中止となったが囲碁ボールとキンボールを通じて、分館の交流が行われた。



5月19日に松尾小学校東側の城公園トイレより火災が発生したという想定で非常招集訓練が行われた。この訓練は毎年春と秋の2回、場所を変えて行われている。近年、消防団員の確保が難しい中、今年度10人の新

### 非常招集訓練 城公園が火事だ!!



入団員を迎えることが出来た松尾分団は、新体制の下、火災が起きた時の対応が迅速に行えるよう、今回の訓練では飯田広域消防を始め松尾地区の多くの団体に協力を依頼。消防団員を中心に各区の区長や日赤奉仕団など多くの人が参加した。

訓練火災発生の際に消防署の消防車が最初に到着、その後4つの班のポンプ車と積載車が続々と火元に駆け付け、松尾小学校東側プールと消火栓を水利と

して一斉放水をした。並行して公園内の少し離れた場所ですり抜け、日赤奉仕団による要救助者への対応が行われた。

訓練終了後、第5分団松尾分団の竹内佳史分団長は「訓練を通じてこれからも松尾地区の消防力の強化・維持防火・防災に努めていきたい」と語った。飯田消防署の安藤博行さんは「現在、昨年より10件多い57件の火災が発生しており、そのうち27件が屋外での不適切な火の取り扱いによるもの。こういった火災が起きた時は早期の対応が必要。消防署と地元消防団の情報共有連携は欠かせない」と講評した。

**松尾図書館**  
(公民館2階)

開館日  
水曜 午後1～5時  
土曜 午前10～午後5時  
日曜 午後1～5時  
本のリクエストも受けつけています。

**公民館の主な行事予定**  
(7月～9月)  
【7月】  
6日 親子映画観賞会  
20日 人形劇プレフェスタ  
【8月】  
7月31日～8月5日  
いい大人形劇フェスタ2019

# 再会と出会いに感謝

松尾還暦の会



6月2日に令和元年松尾還暦の会が実行委員会主催、松尾公民館後援で行われた。10時半より鳩ヶ嶺八幡宮拝殿において祈願祭が厳粛に行われ、参加者81人(男性43人、女性38人)全員が玉串を奉奠した。

記念写真の撮影後、会場をビークラスマツカワに移して、式典・祝賀会が盛大に執り行われた。開会のあいさつで新井優実行委員長は、「私たちは昭和に生まれ、平成を生き、令和の幕開けに還暦を迎えました。今日のこの再会を良い機会にして、この先それぞれの地区の責任ある立場になった時も良き友人として力を合わせ松尾地区の発展に少しでもお役に立てればと思います」と話した。

この後、松尾還暦の会より松尾公民館へ記念品の贈呈が行われた。松尾公民館は防災拠点であることから、防災情報等の提供に必要となる液晶テレビ、DVDプレーヤー、AVアンプを贈呈した。来賓の木下徳康市議会議員の乾杯により祝賀会がスタート。常盤台の中山昭さんによるギターの楽曲演奏があり、宴会の最後には同氏によるギター演奏に合わせて「岬めぐり」、「ふるさと」を大合唱した。最後に来賓の村松まり子市議会議員の万歳三唱で閉会となった。

参加した水城区の木下道文さんは「これから地区の役員となる年齢となり、今日のような再会と出会いが松尾地区での活動に役立ちます」と話した。



演奏する中山昭さん

## 毛賀区 いつ起こるか予測できない地震、起こってからでは遅い!



6月9日毛賀区民会館で飯田市危機管理室次長補佐の後藤武志さんによる「防災・減災を暮らしの中に事前の防災対策とは」をテーマにした講演会が行われ、100余人が集い、ユーモアを交えた面白くためになる話を聞いた。後藤さんは毛賀区出身で、飯田市内をはじめ全国各地で防災講演・職員研修などを行っているほか、災害に対する新たな手法を開発・展開している。

まず2年前の熊本地震の後藤さん本人が撮ってきた写真を見ながら、被災地の状況や避難所での実際にあつた想像もできないような話、そこで暮らす人たちの苦労

話・注意点などの話があり、地震発生時に取るべき行動の指導があつた。次に将来起こり得る飯田下伊那地方の大地震に対する日頃の備え、心構えの説明があつた。地震発生前に「どのような危険が潜んでいるのか知る、物を減らす、家具を固定する」の3点が重要であるとの指摘を参加者は真剣に聴いていた。

最後に後藤さんからの防災教訓「①伝えるよりも伝えるために②助かるよりも助けるために③まさかよりももしかしたら④その時によりもその前に」を全員心に刻んで講演会は終了した。

## 久井区 川の波しぶき浴びての天竜舟下り



景色を見ながらの舟下り

6月9日、久井区いきいきセミナーが文化部主催で開催された。昨年度までは正月明けに豊川稲荷へ初詣に出かけていたが、3年続いたこともあり、今年度は地元の良いを見直し体験することを目的として、天竜舟下りと地元食材をふんだんに使った料理を楽しむ昼食会が企画された。弁天港から時又までは、ゆつたりとしたコースだが、前日の雨で水量が増え、時



ボリュームのある料理を堪能

折波しぶきを受け、迫力ある舟下りであった。昼食はココロファームビレッジ内にあるココリスムでボリュームある料理に、参加者は皆満足していた。文化部長の若尾哲也さんは「天竜舟下りは多くの方が体験したことがありますが最後に乗ったのは……地元の観光地を地元の住人が体験することは意義のあることだと思います。どれだけの参加者があるか心配しましたが、保育園児から70代までの27の方が参加していただき親睦を深めることができました」と話した。

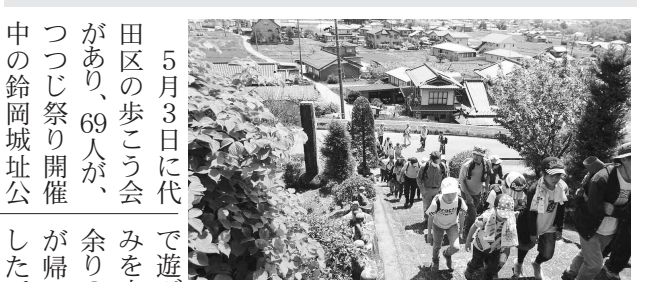
## 常盤台区 心温まるあいさつ

5月17日に常盤台区役員による「あいさつ・みまもり運動」が常盤台から鳩ヶ嶺八幡宮前までの通学路交差点6カ所で行われた。子供たちの安全を見守ることが目的である。交差点は建物やカーブ等で見通しが悪かったり、坂などで車のスピードが出たりする場所を選んだ。八幡宮前の道路は交通量が多く、電柱が邪魔になるため特に注意をした。子供たちに挨拶をすると子供たちからも大きな声で「おはようございます!」、横断歩道を渡った後に振り返り、お辞儀をしながら



「ありがとうございます!」と返していた。その素直な姿を見て「自分を恥ずかしく感じる」と話す役員もいた。代田公民館を出発し、往路は毛賀から竜丘にかけての旧道を、景色を楽しみながらゆつくりと歩いた。途中、休憩に立ち寄った念通寺では、住職が手入の行き届いた牡丹園を紹介し、鑑賞した参加者は暑さと疲れの中でも束の間の癒しを得ていた。帰路は、松尾城址公園に通じる山道を、新緑と春山の香りを楽しみながらのウォーキング。今こそ草木が生い茂りかき分けて通るほどの山道となっているが、昔を知る参加者は、「かつては虫捕りや田畑の手入れに通るような、生活の中でのなじみの道だった」と話していた。参加者は、普段歩くことのない地域の中の風景に改めて良さを感じるとともに、5月ならではの心地よい空気を楽しんだ。

## 代田区 歩こう会 日差しに負けるな



5月3日に代田区の歩こう会があり、69人が、つつじ祭り開催中の鈴岡城址公園へのウォーキングを楽しんだ。昨年は雨で中止となったが、今年は真夏を思わせる強い日差しの下での開催となった。代田公民館を出発し、往路は毛賀から竜丘にかけての旧道を、景色を楽しみながらゆつくりと歩いた。途中、休憩に立ち寄った念通寺では、住職が手入の行き届いた牡丹園を紹介し、鑑賞した参加者は暑さと疲れの中でも束の間の癒しを得ていた。帰路は、松尾城址公園に通じる山道を、新緑と春山の香りを楽しみながらのウォーキング。今こそ草木が生い茂りかき分けて通るほどの山道となっているが、昔を知る参加者は、「かつては虫捕りや田畑の手入れに通るような、生活の中でのなじみの道だった」と話していた。参加者は、普段歩くことのない地域の中の風景に改めて良さを感じるとともに、5月ならではの心地よい空気を楽しんだ。